

きょうのテーマ

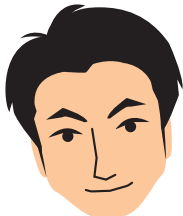
みんな思い出

みんな言いたい

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ



おりはらアドバイザーの

学ぼう防災

⑥

雨の強さと降り方

気象庁

やや強い雨

ザーザーと降る

1時間雨量10～20mm未満

- ・地面からの跳ね返りで足元がぬれる
- ・雨音で話し声がよく聞き取れない
- ・地面一面に水たまりができる



強い雨

どしゃ降り

1時間雨量20～30mm未満

- ・傘をさしていてもぬれる
- ・寝ている人の半数くらいが雨に気がつく
- ・地面一面に水たまりができる

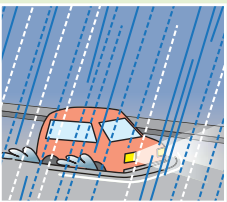


激しい雨

バケツをひっくり返したように降る

1時間雨量30～50mm未満

- ・傘をさしていてもぬれる
- ・寝ている人の半数くらいが雨に気がつく
- ・道路が川のようになる



非常に強い雨

滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)

1時間雨量50～80mm未満

猛烈な雨

息苦しくなるような圧迫感がある、恐怖を感じる

- ・傘は全く役に立たなくなる
- ・水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる



避難情報

警戒レベル	住民がとるべき行動	避難情報等
5	命を守る最善の行動	災害発生情報
4	危険な場所から全員避難	避難指示(緊急) 避難勧告
3	危険な場所から高齢者などは避難	避難準備・高齢者等避難開始
2	ハザードマップ等で避難方法を確認	大雨注意報 洪水注意報
1	心がまえを高める	早期注意情報

今週の注目ニュース

◇28日(月) いじめ防止対策推進法の施行日
いじめられて自殺する子が後を絶たない中、2013年に国や市町村、学校にいじめ防止に取り組む責任を定めた法律が施行された。いじめ防止には、児童生徒一人一人もお互いを尊重することが欠かせないよ。

大雨による災害が全国で起きています。テレビのニュースなどで最近よく、「50年に1度の大雨です」と言われていると感じませんか？ 昨年10月の令和元年東日本台風(台風19号)も今年の7月豪雨も、「50年に1度」の大雨でした。

「50年に1度」の大雨がなぜ毎年のように、しかも1年に何度も降ると言われるのか、不思議に思ったことはないでしょうか。

50年に1度の大雨

気象庁は全国を5キロ四方に区分けし、区域ごとに「50年に1度」降る可能性のある降水量を定めています。毎年のように全国どこかの区域でこの降水量に達するので、何度も耳にしているのです。「50年に1度」の大雨は、大雨特別警報発表

の目安ともされています。近年は大雨の頻度が確実に増加しているというデータがあります。気象庁によると、「滝のよう」に降る」と表現される1時間当たり50ミリ以上の雨が全国で降った回数は、1976～85年の10年間で年間平均226回だったのに対し、2010～19年の10年間では327回。1・4倍以上に増えています。

今年も大雨による災害が発生しています。1～8月は全国で既に269回も50ミリ以上の雨が降り、数十年前はあまり経験しなかった大雨が頻繁に降る雨に変わりました。これまでの常識や「今まで大丈夫だった」という経験は通用しません。

大切な命を守るため、いざというときの避難場所や避難のタイミングなどを、おうちの人と確認しておきましょう。(仙台市防災・減災アドバイザー・折腹久直)

これまでの経験通用せず

きょうの紙面

- 2面 ニコ☆プチ
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 いいね 小学校
- 6面 絵でわかる こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 子育て・教育相談センター